

西村市政発足1年。人口増に向けた施策を着実に展開

昨年6月17日に西村市政が誕生して1年が経ちました。5万人都市の再生をめざして、加西市は、子育て支援、生活基盤の整備、若者の定住促進などに力を入れています。市民の皆様や団体の意見を伺い、独断専行することなく協議を重ねて市の意思統一を図り、議会審議を経て条例や予算が成立、一歩ずつ着実に施策を展開しています。平成23年度は、第5次加西市総合計画、加西市行政改革プランを策定しました。

この1年間で決定したことや、実施してきたことを紹介します。今後も、現在開催中のタウンミーティング(意見交換会)などで伺う意見を十分に踏まえ、「住んでみたい」「住んでみて良かった」と思われるまちづくりを進めます。

■ 中学3年生までの医療費の無料化(平成24年7月～)

	6月まで	7月から
入院費	中学3年生まで無料	中学3年生まで無料
通院費	小学3年生まで無料	
	小学4年生～中学3年生までは2割負担	

※所得制限があります。

■ 多子世帯の保育料軽減助成の拡大(平成24年4月～)

3人以上の子どもを育てる世帯に対し、第2子以降のお子さんの保育所や幼稚園等の保育料の一部を助成します。兵庫県下の市町では3子以降の助成制度を実施していますが、加西市は平成24年度から独自に拡大して、保育料の軽減助成を行います。要件があります。詳しくは6頁をご覧ください。

■ 宇仁地区で「新規居住者の住宅区域」を指定



宇仁の里コスモスまつり

宇仁地区は、市街化を抑制する市街化調整区域ですが、宇仁郷まちづくり協議会が中心となり、人口減少の歯止めと地域の活性化を目的に「新規居住者の住宅区域」の指定を受けました。指定を受けた区域内では、建築制限が緩和され、誰でも住宅建設が可能となりました。

■ 国内の小学校で初めて。国際団体・環境教育基金からエコ認証

西在田小は昨年、自主的にテーマを決めてエコスクール活動を開始。近くの若井川について調査し、地域住民に研究発表したことなどが認められました。国際団体からの認証で、他の学校だけでなく、多くの市民に環境保護の重要性をPRしました。



西在田小学校

■ 水道料金の値下げ(平成24年1月～)

水道料金を平均11.5%値下げしました。特に家庭用の基本料金は、基本水量を引き下げたことで、最高28%の負担軽減に、また、約4分の1のご家庭が20%以上の負担軽減となっています。

(家庭用1カ所1カ月につき・税込)

水道使用量	23年12月まで	24年1月から	引き下げ額
8㎡まで	10㎡まで一律1,820円	1,310円	△510円(△28%)
9㎡		1,470円	△350円(△19%)
10㎡		1,630円	△190円(△10%)
20㎡	4,020円	3,610円	△410円(△10%)
30㎡	6,510円	5,840円	△670円(△10%)

■ 学校の耐震化

北条中学校の校舎建て替え(平成23年8月完成)
 宇仁小学校の校舎建て替え(平成25年12月完成予定。現在実施設計中)
 このほか、平成23年度には富合小、泉小、九会小、泉中の体育館の耐震化工事が完了、現在、日吉小と北条中の体育館の耐震化工事を進めています。



北条中学校の新校舎

■ 全中学校で学校給食の実施(平成26年1月から実施予定。現在実施設計中)

現在、加西中学校のみで実施されている学校給食を、北条・善防・泉中学校でも実施できるように、北条中学校の敷地内に新給食センターを建設します。

■ 人件費の削減

行財政改革の一環として、市長ら三役は給料を(30%～15%)削減するほか、職員も①②のとおり削減しています。②の削減分は、中3までの医療費の無料化や保育料の軽減助成、幼稚園・保育園の施設整備などの子育て支援策に使われています。

	給料月額削減率	年間効果額	退職金効果額	4年間の効果額
市長	30%	466万円	550万円	2,414万円
副市長	20%	248万円	190万円	1,182万円
教育長	15%	167万円	90万円	758万円

①管理職のボーナス0.6カ月分と管理職手当20%を削減 → 約3,000万円の削減

②管理職を除く職員のボーナス0.6カ月分を削減 → 約6,600万円の削減 → 子育て支援策に充当

■ ふるさと納税が過去最高



出身者が集う東京加西会

加西市出身の方やゆかりの方に、市長が直接ふるさと納税の依頼に伺うなどして、平成23年度は過去最高の寄附をいただきました。

	人数	寄附額
平成20年度	40人	5,795,000円
平成21年度	54人	16,070,000円
平成22年度	80人	19,845,000円
平成23年度	111人	22,350,000円
合計	285人	64,060,000円

■ 3年後開通100周年を迎える北条鉄道の活性化

加西市と小野市を結ぶ第三セクター北条鉄道では、小野市長が約6年ぶりに取締役就任されるなど、新たな体制で運営しています。平成23年11月からは、観光客や利用者が使いやすいように、地元住民らの寄附やボランティアで駅トイレの建設を進めています。また、23年度には女性運転士が誕生し、加西の新キャラクター「ねっぴ〜」車両を導入しました。現在、国のほか、新たに兵庫県、小野市と協調して安心安全のための計画的な設備修繕を推進しています。



3月に登場「ねっぴ〜」車両

■ 住宅リフォームを商品券で助成

市民が市内の施行業者を利用して個人住宅のリフォームをするにあたり、経費の10%を市内店舗で利用できる商品券(最高10万円)として助成。50件の応募がありました(受付終了)。市民の住環境の向上と地域商工業の活性化が目的です。

■ 安全・安心のまちづくり

死亡事故などを受けて、飲酒運転撲滅宣言、交通死亡事故多発非常事態宣言を発令し、市民に安全運転の徹底等呼びかけました。

また、災害に備えて、ダンボールの簡易ベッドの優先的供給に関する協定(9月)、要援護者を受け入れる福祉避難所15施設の使用に関する協定(1月)、サービスエリアを緊急車両の中継基地にするなどの協定(5月)、倒壊建物の撤去や仮設建物の設置などに関する協定(5月)を民間事業者等と結んでいます。

【問合せ】 秘書課 ☎428701 FAX④0291 hisho@city.kasai.lg.jp